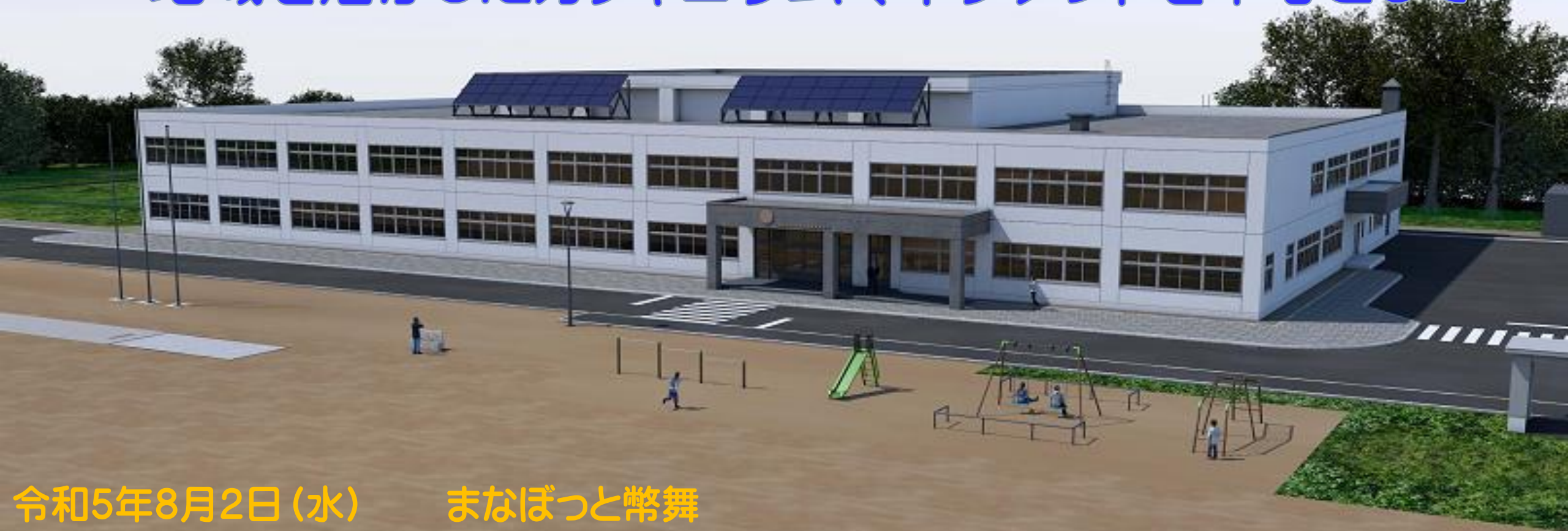


小中一貫教育による新たな学校づくりセミナー

釧路市立阿寒湖義務教育学校の目指すもの —地域を活かしたカリキュラムマネジメントを中心として



令和5年8月2日(水)

まなぼつと幣舞

釧路市教育委員会 教育指導参事 本川 敬一

阿寒湖義務教育学校開校に向けて

2

どのように取り組んだのか

令和3年4月1日

開校

当初予定よりも
1年前倒し



実質2年間での開校準備

平成31年4月～
(私の着任)

開校準備開始

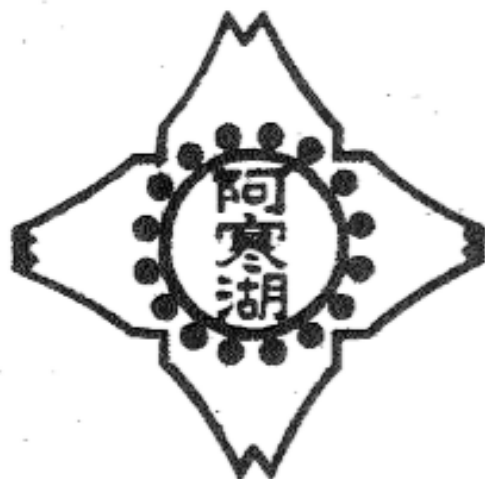
●開校に向けて 何をしたのか？
何から手を付けたのか？

●阿寒湖の特色は？ 特殊事情は？

●開校から2年たって
現在の先生方はどう思っているのか？



校章



校章の主旨

上下に雌阿寒岳、左右に雄阿寒岳と象り、真ん中に満々と清冽な水をたたえる阿寒湖を描き、周りに緑の原始林を配し、全体として大自然の中にすくすくと育ってもらいたいという学校・保護者の熱い願いを込めてこの校章がつけられた。

阿寒は、原始そのものの自然の姿が、何よりの私たちに自然の偉大さを教えてくれる。眼前にどっしりと威容を誇る雄阿寒岳、朝は朝ぼらけの中にくっきりと浮かび出るシルエット、夕には夕焼けに緑の松までが紅に映える山肌、畏敬の念を抱かせる月夜の雌阿寒岳、時には荒れ狂う嵐に山全体が包まれ、嵐の叫び声だけが湖にこだまする。

晴れて雌阿寒岳の白煙が、平和な湖畔に向かって流れ、神々の声が湖底のマリモに伝えられる。いつまでもこの阿寒湖がその神秘的な姿を失わないよう、ともに守りぬいていくことが阿寒湖に住む人々の使命である。

校章のデザインは、元本校教諭吉島静江先生によるものである。



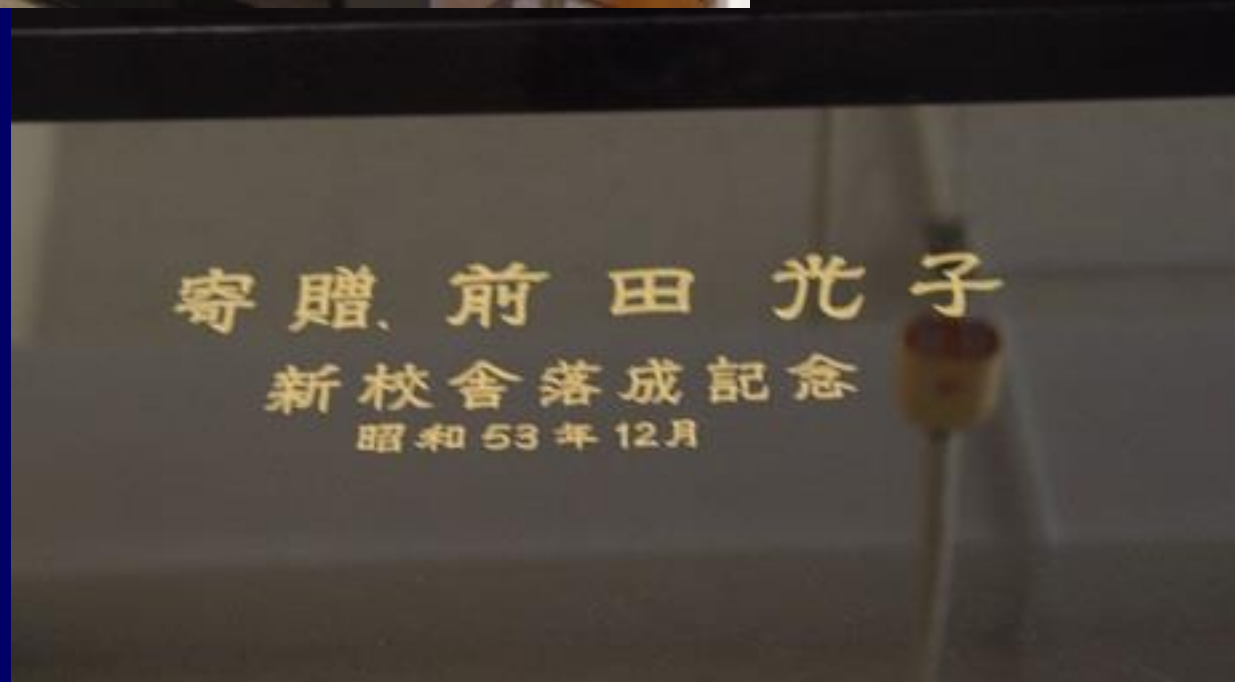
校歌

作詞・作曲 前田 光子

一. 緑の園に 生いたちて
今歩をはこぶ 学びやは
朝日に輝く 山のみね
夕日に映える 湖の
天然の気に 育ちゆく
我らが母校 マリモ校
我らが母校 阿寒湖校

二. 紅い染むる 山の樹々
小波さそう 秋の風
みな清らかに 美しく
いざ学びなん 共々に
天然の気に 育ちゆく
我らが母校 マリモ校
我らが母校 阿寒湖校

三. 白銀しぶく 名峰に
みなぎる若さ 雄々と
北海の子等 手をくみて
いざ進みなん 澆刺と
天然の気に 育ちゆく
我らが母校 マリモ校
我らが母校 阿寒湖校



◆ 阿寒湖義務教育学校

目指す子供の姿

- 最後までがんばり行動する子
- かしこく考える子
- 心豊かな優しい子
- 元気でたくましい子

学校経営G

教育課程G

生徒指導G

研 修G

事 務G

推進委員会

校長・教頭・教務主任
各グループ代表

開校推進コーディネーター



「和気藹々」「One drive」



前期課程

後期課程

| | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 7年生 | 8年生 | 9年生 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

1st ステージ

2nd ステージ

3rd ステージ

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 単式 | 単式 | 複式 | 複式 | 単式 | 単式 | 単式 |
|----|----|----|----|----|----|----|

学級担任制

一部教科担任制

全教科 教科担任制

ジャージ・上靴自由

指定ジャージ・指定上靴

私服

制服

スクールバス乗車可能

自転車通学可能

| 課 程 | 前 期 | | | | | 後 期 | | | |
|-------------|------------|-------|--------|-------|--------|---------|-------|-------|-------|
| 学 年 | 1 年 生 | 2 年 生 | 3 年 生 | 4 年 生 | 5 年 生 | 6 年 生 | 7 年 生 | 8 年 生 | 9 年 生 |
| ステージ | 1 s t | | | | 2 n d | | | 3 r d | |
| 学級編成 (通常学級) | 単式 | 単式 | 単式 | 単式 | 単式 | 単式 | 単式 | 単式 | 単式 |
| 指導体制 | 学級担任 | | 一部教科担任 | | 全教科 | | | 教科担任 | |
| 制 服 | 音楽を教科担任に | | | | 私服 | | | 制服 | |
| ジャージ・靴 | 自由 (購入可) | | | | 指定ジャージ | | | 指定上靴 | |
| 登下校 | スクールバス乗車可能 | | | | | 自転車通学可能 | | | |

部活動・同好会・少年団活動

中学校～・吹奏楽・園芸

※陸上競技部・スピードスケート部は休部中

小学校～・野球・バレーボール
・スピードスケート

保護者や地域の要望，学校の指導体制から総合的に判断し，受け皿として柔軟に設置する部を検討する。

**阿寒湖の
自然・文化・歴史を
活かした特色ある
教育活動の一面**



ヒメマス 稚魚放流





ザリガニ漁
体験



植樹遠足



マリモ観察





水草プロジェクト～第1弾

水草プロジェクト～第2弾

8/27

108kg



10/6

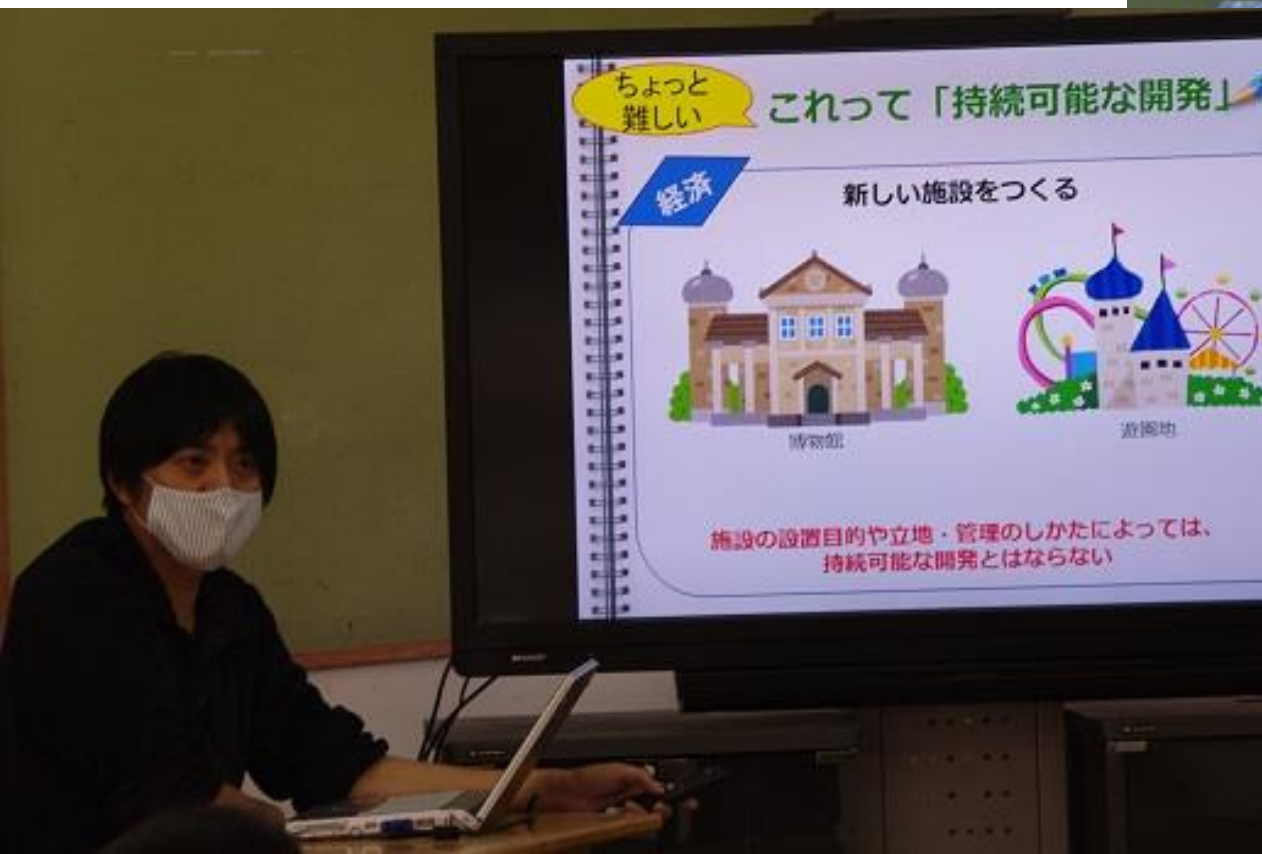
10.8kg



水草
プロジェクト
～第2弾～



持続可能な社会





アイヌ文化名人～アイヌ古式舞踊





木彫教室

郷土料理教室





アイヌ文化教室 ムツクリ



令和3年度 釧路市立阿寒湖義務教育学校グランドデザイン (案) ver.6

目指す学校像

子供が通たい、親が通わせたい、先生が働きたい学校

- 子供にとって、学ぶ喜びが実感できる学校
- 地域・保護者にとって、信頼できる開かれた学校
- 教職員にとって、プロとして働きがいのある学校

学校教育目標

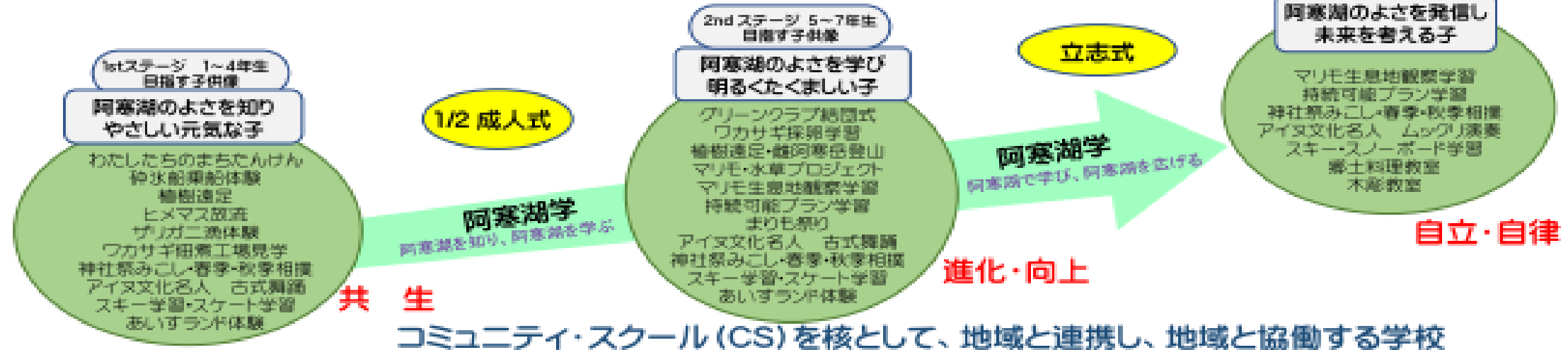
- 最後までがんばり行動する子
- かしこく考える子
- 心豊かな優しい子
- 元気でたくましい子

目指す教師像

- 「チーム阿寒湖」として「組織」を意識して協働する教師集団
- 愛情を持って子供に接し、常に子供と一体であるとする教師
- 強い情熱と謙虚な姿勢を持ち、学び続ける教師
- 阿寒湖のすべての財産を生かし、積極的に地域と関わる教師

めざす子供像 = 15歳の姿

ふるさと阿寒湖を愛し、心豊かにたくましく生きる子供



かしこく考える子 (確かな学力)

1. 楽しくわかる授業を実現します
2. 基礎的な知識・技能を身に付けます
3. 主体的・対話的な学びを推進します
4. 家庭との連携を図り、学習習慣を身に付けます
5. よりよい自分や社会の在り方を求めて判断する力を身に付けます

心豊かな優しい子 (豊かな心)

1. 場に応じた言葉づかい・挨拶ができ、思いやりのある子どもを育成します
2. いじめのない学校・学校を目指します
3. 集団生活の規律やしつけを確立し、社会性を身につけさせます
4. 失敗を恐れず、何事にも果敢に挑戦する強い心を育てます

元気でたくましい子 (健やかな体)

1. 計画的な体力づくりに努めます
2. ステージに応じた健康・安全教育を実施します
3. 自らの命を守る力を養います
4. 強い意志を持ち、最後までやり遂げる力を育てます
5. 夢や目標を持ち、主体的に生きる力を身に付けます



令和5年度 釧路市立阿寒湖義務教育学校グランドデザイン

<学校教育目標>

- 最後までがんばり行動する子
- かしこく考える子
- 心豊かな優しい子
- 元気でたくましい子

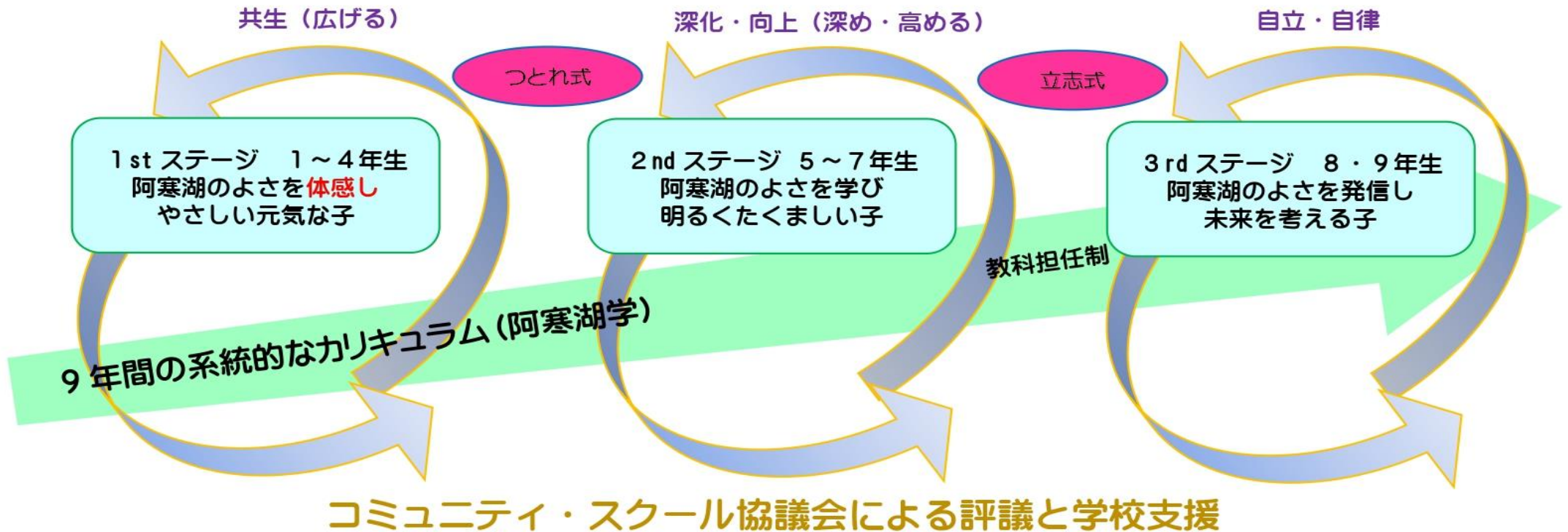
<目指す学校の姿>

- 子供にとって、共に学ぶ喜びが実感できる学校
- 地域・保護者にとって、信頼できる開かれた学校
- 教職員にとって、プロとして働きがいのある学校

<目指す教師の姿>

- 意味あることを
- 熱意をもって
- 上手に教えられる教師

目指す15歳の姿：ふるさと阿寒湖を愛し、心豊かにたくましく生きる子供





小中一貫校と義務教育学校の違いは？

小中一貫校とは

(併設型・連携型)

それぞれの校長と教職員集団, 修業年限は6年+3年

義務教育学校とは

(一体型・併設型・連携型)

一人の校長, 一つの教職員集団, 修業年限9年

メリット

子 供
の側から

中1ギャップの解消
子供の発達の早期化・加速化
学びの連続性, 指導の連続性
小学校のきめ細やかな指導
中学校の専門性を活かした指導

教 師
の側から

小学校低学年の先生がゴールの姿を・・・
中学校の先生が小学生の姿を・・・
生徒指導上の問題を担任一人で抱え込まない

保護者
地 域
の側から

小規模校の活性化
教育の質の向上・教師の指導力向上
保護者・地域の意識改革

メリット～阿寒湖義務教育学校の先生方の生の声

子供 の側から

- 目指す15の姿をリアルな姿として捉えられているように感じる。
- 小学生が行事などで活躍する9年生の活躍を見て、「カッコいい。」「ああなりたい。」と憧れている。
- 4年生がステージのリーダーとして活躍している。
- 7年生(中1)が、教科担任制にも慣れ、のびのびと学習している。
- いわゆる中1ギャップは少ない気がする。
- 異学年交流の学年差があるので、伝え方などの表現力を身に付けることができていると思う。

メリット～阿寒湖義務教育学校の先生方の生の声

教師の側から

- 小学校教員のよさ(きめ細やかな指導等)、中学校教員のよさ(専門的な教科指導・学年団で指導に当たる等)が融合し、各ステージの教員がチームとなって、きめ細やかな生徒指導(もちろん教科指導も)が行われるようになった
- 生徒指導面においても、前期・後期課程の枠を超え、迅速な対応策を練ることができるため、円滑な生徒間、生徒・教師間関係が維持されている。
- 常に「9年間の義務教育」という視点で、子供たちや教育活動を考えています。だから強い責任感のもと、すべての先生方が1年生から9年生のすべての子供と関わっています。
- 義務教育のスタートからゴールが見えるので、小学校でやるべきこと、中学校で受け継ぐことがはっきりと見えている。

デメリツト

子 供
の側から

良くも悪くも中学校高学年のお手本

教 師
の側から

様々な交流活動や学校行事等を行う上で
発達段階の差が多きい(特に1・2年生と8・9年生)

保護者
地 域
の側から

5・6年生のリーダー性が育成しにくい

転出入児童生徒への配慮

デメリット～阿寒湖義務教育学校の先生方の生の声

子供の側から

- 7年生(中1)になり、学習内容は難しくなっているのに小学生気分から抜け出すのに、時間がかかる。
- 中学生が子どもっぽくなった。
(地域柄もあるかもしれないが)

デメリット～阿寒湖義務教育学校の先生方の生の声

教師の側から

- 5年生から教科担任制のため、5～9年生まで授業に行っている先生は、5学年分(5種類)の授業準備が必要となり教材研究の時間を確保するのが難しい。単純に授業時数だけではわからない部分。
- 後期課程の教員は、授業を担当する学年が増えるため、新採用教員の場合、教科担任制のため教科によっては全く経験しないまま4年間を終えてしまう可能性がある。

開校前に
取り組んだこと
相互乗り入れ授業
3・4年生
外国語活動
5・6年生
外国語(英語)
体育
音楽
小学校教師は
中学校でTT



授業公開

釧路市立阿寒湖小学校
釧路市立阿寒湖中学校

みなさん、

- 小学校に導入された外国語・外国語活動の授業は継続ですか？
- どのようにアクティブな授業を行っていますか？
- 小中連携、乗り入れ授業、小学校における教科担任制など・・・進んでいますか？

わたしたちは来春、令和3年度の「阿寒湖義務教育学校」開校に向けて、そして新学習指導要領が実現を求める授業づくりを目指してこれらのことに少しずつではありますが取り組んできました。

今回、中学校の英語教師が小学校の外国語・外国語活動の授業に、教科担任・乗り入れとして行っている授業の一端を公開し、一緒に学びたいと思います。是非お越しいただき、一緒に学びましょう。

日時 令和2年11月27日(金) 13:30～16:00

場所 釧路市立阿寒湖小学校 体育館

公開授業 6年 外国語 Unit7
[My Best Memory]

(他用教科書 MEW HORIZON Elementary English Course)

授業者 阿寒湖中学校教諭 荒川 慶悟

コロナウイルス感染防止の観点から3密を避けるため、体育館での授業公開及び研究協議を予定しています。
参加者の皆様は、当日はマスク着用、上履き持参をお願いします。

| | | | | |
|--------------|---|-------|---|-------|
| 13:00 | 13:30 | 14:15 | 14:30 | 15:00 |
| 受付 | 公開授業 6年 外国語 Unit7 My Best Memory 授業者 荒川 慶悟(阿寒湖中教諭) こんな授業を取り入れた授業をぜひ見てください | 休憩 | 研究協議 助言 説明 | |
| 英語を聴いていただきます | | | <ul style="list-style-type: none"> ○小グループで行います ○全体交流 ○旗 言葉 ○義務教育学校に於る説明 | |

協賛者 北海道教育庁釧路教育局高専教育課 主任指導主事 水野 剛志博
 釧路市教育委員会教育支援課 指導主事 岡本 裕介
 説明者 釧路市教育委員会教育支援課 総務指導主事 富田 直子

参加申し込み 釧路市立阿寒湖小学校 Tel 0154-67-2673 Fax 0154-67-2678

参加希望者は、学校名・お名前を11月20日(金)までに右記宛にメールで申し込みください。
 ※申し込みは1校1名です。メール文の内容に記入ください。
 mail: staff@akanko-e.kushiro.ed.jp



阿寒湖義務教育学校の先生方からのメッセージ

前期課程，後期課程の先生方が，**お互いの校種の教育観を尊重し合っている点**。これは，**開校準備期間**の間に，2校（湖小・湖中）の教員の人間関係がかなり構築されていたことが大きいと感じます。同じ教員住宅に住み，昼夜問わず，良好な関係を築けたことは大きな要因だと思います。教員同士が良好な関係を築けていないと，どんな学校でも上手くいかないのではないのでしょうか……。ましてや，「0から新たな学校をつくる」のであればなおさらだと思います。

阿寒湖義務教育学校の先生方からのメッセージ

阿寒湖義務教育学校はこのような点が、良い方向に作用したと感じていますが、今後設置される釧路市内の義務教育学校には、なかなか当てはまらないのではないかとも思います。だからと言って、上手いかないのでは？ということではなく、同じような視点で教員同士の共通認識のもと、新たな学校をつくっていただければと思います。

阿寒湖義務教育学校の先生方からのメッセージ

現在「小学校で行っていること」「中学校で行っていること」を**単純に足してしまうと**, 大きくはみ出してしまいます。「授業時数に余裕がある小学校だからできていること」, 「教員の空き時間がある中学校だからできていること」, これらをよく考慮して, **新たな教育課程を作成する必要がある**と思います。

阿寒湖義務教育学校の先生方からのメッセージ

「小学校ではこうだった」「中学校ではああだった」と
教員が言い続けていては、義務教育学校の**開校業務**
に当たったり、**勤務**したりするのは**無理**だと思います。

阿寒湖義務教育学校の先生方からのメッセージ

自分の教員人生で、新しい校種の開校に携われたことは、とてもラッキーだと思っています。それは**真摯**に**開校業務に向き合ってきた**から、そう思えるのかな…とも思います。

「大変だったけど、とっても楽しくて貴重な時間だったよ。」と、今なら笑顔で胸を張って言えます。

これから開校業務を推進していく先生方、新しい義務教育学校に勤務する先生方にも、楽しんでもらえたらいいなと(偉そうですが)願っています

An aerial photograph of a large, deep blue lake surrounded by forested mountains. In the foreground, a campus with several buildings and a large open field is visible. The sky is blue with scattered white clouds. The Japanese text "ご清聴ありがとうございました" is overlaid in the center of the image.

ご清聴ありがとうございました